

授業科目名 (英語表記)	管理会計論 (Management Accounting)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	藤原 靖也		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：6月24日(金) 18:00～21:00	第3回：7月15日(金) 18:00～21:00	
	第2回：7月1日(金) 18:00～21:00	第4回：7月22日(金) 18:00～21:00	

【授業の概要・ねらい】

管理会計の目的は組織戦略の実現にある。そのためには、経営者・管理者に適切な情報を提供するシステムを整えることに加え、各組織構成員が管理会計情報を活用しそれらの仕組みを適切に運用出来なければ戦略の実現はあり得ない。本講義では上述の視点に立ち、広く戦略実現のためのシステムーすなわちマネジメント・コントロール・システムーについて学修することで、管理会計が経営や戦略に及ぼす影響を深く検討できるようになることを目的とする。管理会計論を通じ、戦略と制度設計・測定と評価・人的資源管理などの経営のより一般的な問題についても検討できるようになることを目指す。

【授業計画】

第1回（6月24日）：管理会計論の命題と導入上の課題

管理会計論は何を検討する学問であるのかを教示したのち、その導入に関しどのような課題があるのかに関しケースを交え議論を行う。

第2回（7月1日）：戦略マネジメントとしてのBSC

測定による管理の意義につき検討したのち、戦略マネジメントのツールとしてのBSCにつきケースを検討しつつ議論を行う。

第3回（7月15日）：活動基準原価計算・活動基準管理(ABC/ABM)の概要と効果

ABC・ABMの概要とそれが戦略マネジメントにもたらす効果について検討する。

第4回（7月22日）：原価企画、サービス組織のマネジメントおよび本講義のまとめ

戦略マネジメントに関する様々なアプローチや課題を議論したうえで、本講義のまとめを行う。

【到達目標】

管理会計が組織戦略の実現に果たすべき役割を修得するとともに、管理会計システムが抱える課題につき議論できるようになることを目的とする。

【成績評価の方法・基準】

- (1) 講義への貢献度・プレゼンテーションファイルの内容(30%)
- (2) 各回のレポート評価(40%)
- (3) 最終レポート課題(30%)

上記(1)(2)(3)により評価する。うち、(1)についてはプレゼンテーションファイルのレベルに合わせ評価する。(2)については各回に提出されたレポート課題の総点数(各回100点満点)を加重平均し、総点数の40%になるよう評価する。(3)については提出されたレポートのレベルに応じ評価する。なお、当該レポート課題の提出は単位の認定要件であり、最終レポート課題を指定した期日までに提出しない場合、単位は認定しない。

【教科書】

適宜紹介する。

【参考書・参考文献】

適宜紹介する。

【履修上の注意・メッセージ】

学術的・実務的な批評・議論が講義の中心となることに留意すること。

【履修する上で必要な事項】

すでに管理会計の基礎知識を有していることを前提として講義を行うため、知識が不足している者は基本書を用い補っておくこと。

【授業時間外学修についての指示】

事前準備・事前／事後課題をしっかりとこなすこと。

【履修を推奨する関連科目】

原価計算論・経営戦略論

【その他連絡事項】

受講生との相談により講義内容等を変更する場合がある。